

県産種雄牛「幸花久」号産子の子牛市場にデビュー

平成29年11月にデビューした期待の山形県産種雄牛「幸花久」の産子19頭(去勢14頭、雌5頭)が、12月5日の山形最上子牛市場と12月7日の置賜子牛市場に相次いで上場・取引された。平成31年1月の最上市場において、「幸花久」産子の出荷セレモニーが開催される。

取引結果の詳細は下表のとおり。市場開催日の都合により若い月齢の子牛が多かったが、「幸花久」産子は発育も良好で、体重 kg 単価は平均を上回った。31年以降も上場頭数が大幅に増えることから、県内子牛市場の活性化につながるものと大いに期待される。

表 山形最上市場(12/5)および置賜子牛市場(12/7)の取引結果

	頭数	日齢 (日)	体重 (kg)	価格 (千円;税込)	体重/ 日齢(kg)	価格/ 日齢(円)	価格/ 体重(円)
「幸花久」去勢平均	14	233	253	792	1.086	3,405	3,134
「幸花久」雌平均	5	250	225	685	0.898	2,739	3,052
去勢平均	220	263	289	800	1.102	3,080	2,791
雌平均	150	267	266	764	1.001	2,900	2,904



↑ 写真は置賜子牛市場(H30.12.7)

(ウラ面に発育データ)

「幸花久」産子の発育状況（速報）

12月5日の最上子牛市場を皮切りに、12月7日の置賜子牛市場に計19頭（去勢14頭、雌5頭）の「幸花久」産子（以下、産子）が上場、畜産試験場では、全産子について上場時に測尺しており、その結果は以下のとおりであった。産子は、性別にかかわらず平均以上の良好な発育を示しており、特に去勢のほとんどで上限前後の体高であった。今後も産子の発育性調査を継続し、県産種雄牛「幸花久」のPRに努めていく予定である。

図 「幸花久」産子上場時の性別体高、胸囲、体重（比較：全和発育曲線）

